

勇気を出せば、リハ職が、地域がつながる



大塚啓介

株式会社アール・ケア所長

30代、16年目

訪問リハに従事

管理業務に取り組む

備中北ブロックリーダー✨

Q 地域リハビリテーション活動支援事業に参加したきっかけや事業の経験

リハ団体主催のリーダー研修に参加し、リハ団体の取り組みに協力することがきっかけでした。倉敷市、総社市の地域ケア会議への参加、玉野市で講師活動等に参加しました。

Q 事業に参加したことで普段の臨床に活かせることはありますか

対象者に直接関わらない中での他の支援者へのアドバイスでは、わかりやすく、簡単でその気にさせるような発言が求められます。マネジメントの難しさを実感したとともに、この能力は、普段の業務において対象者相手でもスタッフや他職種と関わるうえでも必要であると感じています。

Q 事業への参加を検討している方へのメッセージ

最初は参加するのに勇気がいることだと思います。それは職場でも同じで、回数を重ねることで関係が構築されます。その中での支援はやりがいがありますし、各ブロックのセラピスト同士のつながりがあります。是非頼っていただき、参加してほしいです。